

国補正予算を受け、大阪府補正予算（7号）を公表 各校に学習支援員 480 時間、 感染防止対策最大 500 万円を措置

7月1日、大阪府は補正予算（7号）を公表、吉村知事は議会に諮らず専決処分しました。

◎第7号補正予算（府立高校関係）

（1）新型コロナウイルス感染症対策学校再開支援事業費〔8億4,600万円〕国庫
新型コロナウイルスの感染防止等に必要な物品購入経費

- ・マスク、消毒液等の保健衛生用品
- ・フェイスシールドやビニールカーテンシート等の飛沫感染防止用品
- ・サーキュレーターや扇風機等の教室内の換気を行う用品

本格再開に伴い、感染防止、第2・3の発生リスクを抑えるために必要となる物品を購入。国は、学校の規模に応じ、1校あたり最大500万円を措置するとしています。

（2）学習支援員配置事業費〔1億1,520万円〕国庫

- ・学校の臨時休業により、短縮された期間で授業を実施するにあたり、学習内容の定着が不十分な児童生徒に対して個別にきめ細やかにフォローできるよう、複数によるTT指導や補習を行うために配置。
- ・オンライン授業や家庭学習のための教材作成の補助、授業準備の補助を行うために配置。

1校あたり480時間、配置するとしています。

（3）体育振興事業（大阪大会開催支援事業）〔3,722万5000円〕うち1,900万円は国庫

- ・中学校体育大会及び高等学校の総合体育大会等の運営に要する経費の一部を補助する。
- ・大阪大会開催の経費の一部（新型コロナウイルス感染対策費用等）を補助する。

【対象大会】大阪高等学校総合体育大会、大阪高等学校定時制・通信制課程体育大会、大阪中学校優勝野球大会、大阪中学校総合体育大会、全国（近畿）中学校総合体育大会、近畿高等学校種目別体育大会、全国高等学校ラグビーフットボール大会全国大会中止に伴う大阪大会

安全確保、子どもの成長・発達の保障のために、いま教育予算の増額を

感染対策のための備品・消耗品の予算が確保、「学習支援員」という人的な措置は、学校の安全確保や子どもの学びを保障するうえで、学校現場や子ども・保護者などの世論が後押ししたことで実現した大きな前進です。府高教は、これらの予算措置が実効性あるものになるよう求めていきます。

安全確保と教育条件向上のために、いま学校は「20人学級」へ大きく転換するときです。そのためには、えがお署名を通じて、共同を広げ少人数学級を求める世論をつくるのが重要です。全教は紙媒体に加え、ネット署名も開始しました。ぜひ、署名にご協力いただき、身近な方々に広めてください！！

///だからみんなで！ あなたも府高教へ///

20人学級
を求める
えがお署名

オンライン版



▲QRコード